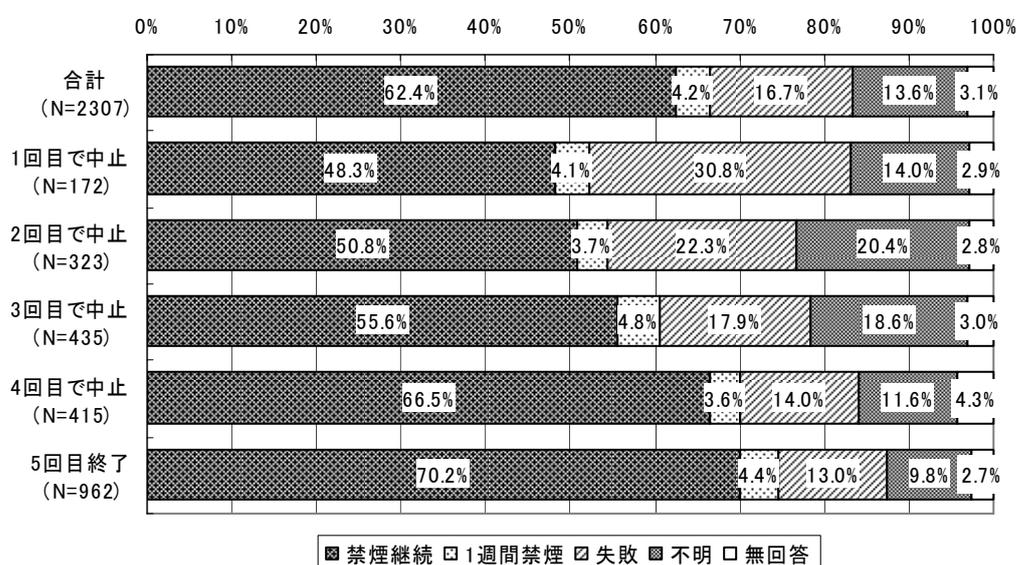


また、途中で治療を中止したが中止時に禁煙していた人、および5回の指導を終了した時点で禁煙（1週間禁煙もしくは4週間禁煙）していた2,307人について、指導終了3ヶ月後の状況を調査した。

その結果、全体的には中止時もしくは指導終了時に禁煙していた人は3ヶ月後も「禁煙継続」の割合が高くなっていったが、1回目で中止した人と比較して5回の治療を全て行っていた人の方が、禁煙継続率は高くなっていった。

図表 35 指導終了3ヶ月後の状況（算定回数別：指導中止時／終了時の禁煙者のみ）



(4) 二次調査：患者の状況

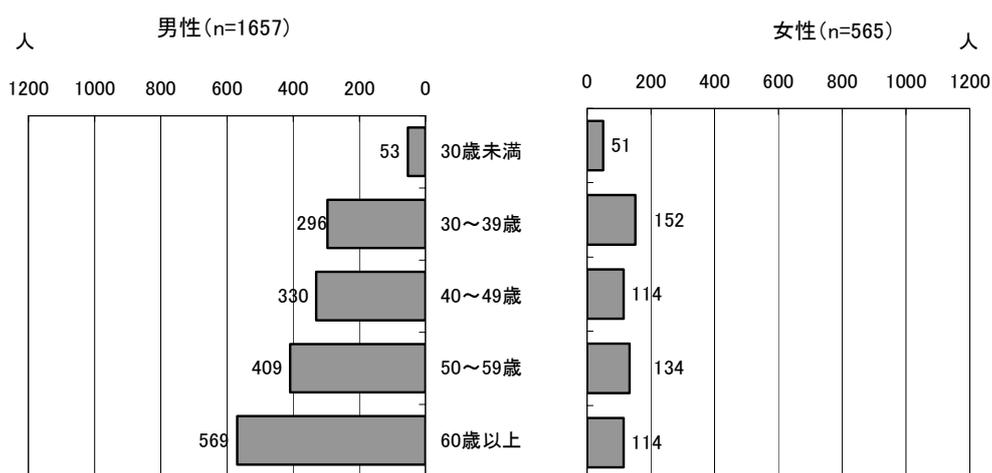
二次調査では、一次調査の対象となった患者について、指導終了 6 ヶ月後の状況を調査した。二次調査の分析対象患者は、調査票様式 3 を回収できた施設における、様式 2 に記載されている患者全数とした。

1) 患者属性

二次調査において、6 ヶ月後の禁煙／喫煙状況の分析対象とした患者は、男性 1,657 人、女性 565 人、性別不明 3 人で合計 2,225 人であった。

男性では年齢が高い層が多く、女性においては若年層が多い結果となっていた。この傾向は、一次調査の対象患者と同様であった。

図表 36 性別および年齢



*性別無回答 (N=3) を除く